

令和元年度 第二学期 終業式に臨んで

おはようございます。今日で第二学期が終わろうとしています。

この二学期には、様々な行事がありました。体育祭、台風で一日だけの実施となりましたが翠柳祭、総合的な学習における学校内外での特に将来の進路に関する活動など、普段とは異なる貴重な経験をしました。

三年生は入社試験や入学試験など次のステップに進む大事な活動があり、それぞれの将来に向けての取組はまだ続いています。

部活動や委員会活動は生徒の真剣な取組が、県大会出場をはじめとする成果を生みました。皆さんの真剣な活動と各先生方の指導に敬意を表します。

昨日には成績会議があり皆さんの学習及び生活の状況について各学年から説明がありました。努力を重ね、優れた成果を得ている人については心配はありません。問題は、努力もせずに漫然と高校生活を送り、成績も不振である人です。その中には、与えられた補習等の機会に参加しなかった者もいます。

また、三年生においては進路の決定後に、出席、学習状況が悪化した者が少なくないと聞いています。これは大変に深刻な状況です。今一度、自分の行動や考え方を振り返って、物事を甘く考えず、その状況を改善してください。

何日か前、出張で歩いていると、民家のブロック塀の上で2匹の猫がにらみ合っていました。2匹の猫が偶然そこで出会ってしまったようでした。攻撃しようか、その場を立ち去るのか、2匹とも互いにためらっている様子でしたが、なかなか野性的な緊張感のある場面でした。

さて、動物同士が出会う場面について考えてみましょう。動物同士が出会う形でよくあるのは捕食する者と捕食される者の関係、つまり食べる側と食べられる側の関係です。その時の行動は攻撃（襲う）又は逃避（逃げる）のどちらかです。動物はいきなり出会って仲良くすることはそんなにありません。それは身の危険になります。

す。一方でまた、動物には同じ種の集団の維持や繁殖のための互いの接近が必要です。攻撃や逃避を起こさせない特別の合図が求められます。これがそれぞれの種の挨拶行動になります。これは相手の攻撃を避け、仲間であることを示し、友好関係を維持するための行動です。

人間もやはり動物の一種ですので、挨拶はこういう根本的な理由付けに始まっているものと思われます。

さて話を私たち人間、この沼南高柳高校に移しましょう。ここ一年程、私が沼南高柳高校の生徒が以前より挨拶ができなくなっていると感じています。もちろん、それができる人もたくさんいます。しかしその比率が落ちてると感じます。特にデーターを持っているではありませんが、そう感じています。以前は廊下を歩いていると生徒から挨拶がたくさん聞こえてきました。私は自分は校長だから、生徒に挨拶されたら返そうと思いません。生徒を待たずに自分からするようにしています。挨拶は人と人との関係で交わすものですから、上下関係はなしです。挨拶は同時に交わすのが理想なのでしょうが、最近は私の挨拶が先であることが多くなったと思います。更には、地域の方々からも今の沼南高柳の生徒は以前ほど挨拶しないとされています。

私も毎朝の職員打ち合わせが終わった後、時間あれば昇降口で生徒を迎え、「おはよう」と声をかけています。生徒の皆さんの反応はいろいろです。自分から「おはようございます」と言ってくる生徒、大きな声で「おはようございます」と返す生徒、小さな声で「おはよう」と返す生徒、会釈だけ返す生徒、目線だけこちらに向けてる生徒、困ったような表情で通り過ぎる生徒。しかしその中にはまったく何も反応しない生徒がいます。それぞれ体調や気分、別のことを考えていて気づかないとかいろいろ事情があるのかもしれませんが、そもそも挨拶は強制されるものでもありませんし、しないと罰を受けるものでもありません。それにしても、挨拶が返ってこないというその時に、私も一人の人間として寂しい感情を持ちます。大人である私も、その瞬間にはそういう気持ちになります。

さて、挨拶をすることで何が得られるか考えてみましょう。例えば挨拶は、相手の気持ちのマイナスの部分、不信感や敵意(それが仮にあったとしたらですが)を和らげるでしょう。挨拶は自分への理解者や賛同者を増やすでしょう。挨拶の声を出すことで自分の気持ちも不思議と高まるでしょう。挨拶が返ってくることで自分も温かい気持ちになるでしょう。つまり、自分も相手も得なことばかりで、損は何もありません。

次に挨拶をしないとどうなるでしょうか。例えば相手に相手を受け入れていないと誤解されるかもしれません。消極的な人だと思われるかもしれません。チームで物事に向かえる人なのか、疑問を持たれるかもしれません。そして挨拶をしていない自分も、何か受け入れられてないように感じるものです。これでは自分も相手も損なことばかりです。

損得で物を考えすぎてもいけません、するとしなくてやはり大得と大損、まさしく天国と地獄です。これが長い期間では更に大変な違いになります。挨拶は確かにあなたの人生を変えます。

挨拶には元手も教材も、厳しい訓練も必要ありません。だれでもやる気だけあれば、簡単にできることです。そして、その行動は、相手の気持ちもあなたの心も爽やかにします。皆さん是非、まずは今日の帰りに誰かに向かって「ありがとう」や「さようなら」と伝えてみてください。人に向かってが照れるなら、まずは教室や校庭に言ってみてもいいです。

さて、明日から冬休みが来ます。正月を迎えるにあたり、一人ひとりが今暮れようとしている2019年、令和元年を思い出してください。そして、2020年に向かって、ささやかでもいいから何か目標を見つけてください。そして目標の実現に向かって努力をしていってください。

寒さや風邪に負けず、そして事故のないように過ごし、一月の始業式にまたこの場で会いましょう。

令和元年十二月二十三日